

## ふれあいキャンパス【中高連携】

連携校生徒の「ふれあい」を大切に

11月9日（火）に、連携型中高一貫教育生徒交流事業の一つである「ふれあいキャンパス」が開催されました。ふれあいキャンパスは、連携校である小瀬高校と明峰中学校の生徒の交流が目的です。

今回のふれあいキャンパスでは、11の講座が設定されました。生徒は、普段の授業とは違う雰囲気の中で、交流しながら楽しく学び、学ぶことの楽しさを実感する機会となりました。



＜講座の様子＞

左：百人一首

（国語科）

右：折紙で季節を表現

（家庭科）

参加した中学生からは「普段の授業とは雰囲気が違い、年齢の違う先輩後輩と協力しながら進められていい経験になった」「高校生は丁寧に教えてくれてやりやすかった。自分が高校生になったらそうになりたい」「コミュニケーションを取って打ち解け合い、協力してできてとてもよかった」等の感想が寄せられました。また、高校生からは「ゆっくり、わかりやすく説明することが大切だと思った。いつもとは違う充実感があった」「年齢差を越えて、初めてあう人とコミュニケーションを取って物事を進めることは大切だと思った」等の感想が寄せられました。



ふれあいキャンパスにご参加いただいた来賓の方々からは、「中学生と高校生が、互いのことを考えながら交流している姿が見られて良かった」「様々な活動に取り組んでいる姿が、とても自信に満ちあふれていて輝いていた」等の感想をいただきました。

小瀬高は、茨城県内で唯一の連携型の中高一貫教育校として、連携中との交流を深めながら、いろいろなことにチャレンジしていきます。



ふれあいキャンパスの開会行事では、明峰中の森島洸樹さんと小瀬高の岡崎諒さんが、生徒を代表してあいさつを行いました。また、閉会行事では、明峰中の岡崎潤さん（写真右）と小瀬高の諸澤拓磨さん（写真左）が、ふれあいキャンパスに参加した感想を発表しました。

各校の代表として、堂々とした態度で自分の思いや考えを伝えることができました。

No Challenge    No Future !